

席替えの方法と留意点

子ども達は席替えが大好きだ。席替えは無条件で盛り上がる。今現場で実際に行われている方法としては、(1)教師が決める方法、(2)子どもが自由に選ぶ方法、(3)くじ引きで決める方法、の3つに分けられるように思います。それぞれに利点や欠点があり、これがベストだというものは無く、子ども達の発達段階に応じて柔軟に変えていくのが良いように思います。席替えに失敗したときは、学級経営が困難になることもあり、慎重に準備しなければいけません。

1 教師が決める方法

教師が全員の席を決めます。

この場合は、4月に席替えの理由やルールについて、子ども達に納得のいく説明をする必要があります。

- ① 仲間はずれや、授業中のおしゃべりが出ないように、気持ちよく学習するため。
- ② どのようなタイミングのときに席替えをするのかを決めておく。
(日直が一回りした段階とか決めておくが、隣のクラスとあまりに違うと不満が出るので、学年で話し合っておく。)
- ③ 発表した後に、不満は言わせない。

(1) 配慮すること

- ① 前回と同じ席にならないようにする。
(何度もチェックすると共に、年間を通じて座席表を記録に残しておく。)
- ② 班が同じにならないようにする。
(班のメンバーが数人かぶるのは仕方がないが、全員同じになるのは避ける。)
- ③ 視力が弱い子どもを前にする。
(検診の結果を考慮し、子どもが希望した場合。気にしない場合は行わない。)
- ④ 子ども同士の相性を考慮する。
(相性の悪い子同士を隣や同じ班にすると、活動の際にトラブルになることがあるので、そのような組み合わせは避けておく。)
- ⑤ 支援が必要な子どもは教卓の近くに作る。
(教師の手が届くところに坐らせ、机間指導がしやすいようにする。)
- ⑥ 学力のバランスを考える。
(グループの中に1人は学力の高い子どもを入れたり、また消極的な子ばかりになったりしないよう、バランスのとれた構成にする。)
- ⑦ 窓際や出入り口の近くは入れ替える。
(窓の開け閉めや、出入り口の戸の開け閉めが毎回続くのは可哀想なので。)

(2) 利点

- ① できるだけ多くの友達と関わりを持たせることができる。
- ② 意図を持って座席を配置することで、授業や学級経営がやりやすくなる。
- ③ 人間関係など、個別の配慮がしやすい。
- ④ 問題傾向のある子ども同士をあらかじめ遠ざけることができる。

(3) 欠点

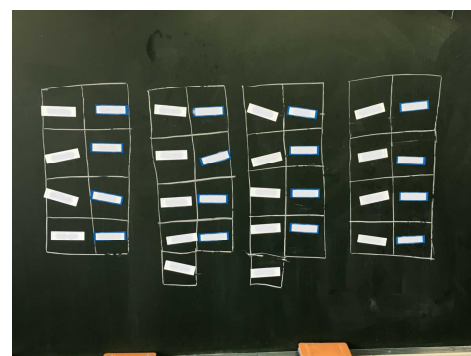
- ① 子どもの自由意志が生かされない。
- ② 席替えの回数を重ねていくうちに、配置や組み合わせが減っていくので、決めていくには毎回、大変な労力が必要となる。
- ③ 組み合わせが裏目に出ると、子どもから不満が出たり、保護者からクレームが来る恐れがある。
- ④ この方法をとるなら、4月当初から行わないと失敗する。
(一度自由席やくじによる方法を経験した後で、年度の途中で教師が決める方法に変えると、子ども達からの反発があるので、納得のいく説明をしないと、不満の矛先が教師に向かう。)

2 子どもが自由に選ぶ方法

男女交互に自分の好きな席を選んで決めていく方法です。ご対面や、お見合い方式ともいいます。

(1) 手順は

- ① 黒板に男女の座席表の枠を書きます。
(班の枠も入れておきます。)
- ② 男子か女子のどちらかが教室に残り、もう一方が廊下に出ます。
- ③ 自分の好きな席を選び、黒板の枠の中に自分のネームプレートを貼ります。
- ④ 希望が重なったら、話し合いか、じゃんけんで決めます。(教師が立ち会う。)
- ⑤ 全員決まったら写真を撮って、ネームプレートを外して、元に戻します。
- ⑥ 廊下に出て男女交替します。
- ⑦ 男女決まったら、教室で「ご対面～」と言って一斉に坐ります。



(2) 利点

- ① 子ども達が望む方式であり、男女それぞれの自由意志を尊重できる。

(3) 欠点

- ① 回を重ねるにつれ、仲良しグループに固定化していく傾向がある。
- ② 力関係の強い男子が事前に後ろの席を取れるよう画策したり、弱い子が遠慮したりすることがある。
- ③ 仲良しばかりが集まりやすいので、授業態度などが崩れる可能性がある。
- ④ この方式をとる場合は、子ども達の間人間関係が良く、学級経営がうまくいっている場合である。学級にボスがいたり、いじめられる子がいたり、教師の指導が通らない場合は、危険なので、望ましくは無い。

3 くじ引きで決める方法

子ども達が全体場でくじを引いて席が決まる方法です。盛り上がります。

(1) 手順は

- ① 黒板に男女の座席表の枠を書きます。
(班の枠も入れておきます。番号は入れないでおく。)
- ② くじを引く。
 - ・ あらかじめ男女別に番号を振ったくじを用意しておく。
 - ・ どっちからくじを引くかを決める。
(最後に引く人は残りくじを引くことになり、不公平感が出るので。)
 - ・ 視力の弱い子ども用に、前2列の番号のくじを事前に分けておき、前を希望する子どもに先に引かせる。
 - ・ 残ったくじを他と一緒にして、一人ずつ引いていく。
 - ・ 自分が引いた番号は、最後の人が終わるまで持っている。
- ③ 子どもに、自分が引いた番号を言わせます。
- ③ 教師が持っている座席表と照合し、黒板の枠に名前を入れていきます。
 - ・ あらかじめ、番号をふった教師用座席表を用意しておきます。
(この時まで、子どもには見せないでおきます。)

- ・ この座席表は、乱数表を用いて作っておく。
- ・ 乱数表を使っていると言うと、子どもは妙に納得する。
(教師が適当に番号をふって座席表を作る方法もあるが、片寄りが生じる。)

(教師用座席表)

教 卓	
9	1
13	15
3	3
2	4
1	8
15	5
16	11
16	6
2	12
6	13
17	10
5	11
4	8
7	14
7	14
12	9
10	18

- ④ 臨時的に新しい座席に座らせ、班長・副班長を互選で決める。
(帰りの学活後に正式に席を替える。)

(2) 利点

- ① 子どもの前でくじなので、公平感がある。
- ② 自分がひいた席なので、あきらめがつく。
- ③ 教師の準備は簡単で、ストレスが無い。
- ④ 教師が番号を公表しないことで、ずるい子がこっそりとくじを交換することを防ぐことができる。
- ⑤ 短時間で済む。

(3) 欠点

- ① 人間関係などの個別の配慮はできない。
- ② 偶然性に左右されるので、望ましくない組み合わせが出る場合がある。
- ③ この方法をとった後で、教師が決める方法に戻すことはできない。

4 乱数表を用いた座席表の作り方

子どもにくじを引かせて座席を割り振るときに用いる「教師用座席表」は、乱数表を用いると、バランス良く番号が振り分けられます。
以下その作り方を演習してみましょう。

- (1) まず、乱数表を用意します。(最終ページ参照。ネットでも手に入ります。)
- (2) 次に、男子16人分の数字と順番を決めます。
- (3) 目をつぶって乱数表の任意の場所に指を置き、そこをスタート地点とし、○をつけておく。(この場合、75番がスタート地点となります。)
- (4) 右横に行を追っていき、16以下の数字が出てきたら、座席に数字を入れていく。(この場合は、最初に13番が入ります。)
- (5) 使った数字には○を付けていく。
- (6) 一行終わったら、次の行に進みます。(すると次に2番がヒットします。)

	64 88 38 34 90	51 98 50 79 93	65 91 42 82 87	50 94 22 89 91	05 91 85 53 19
	15 92 32 29 62	39 80 57 77 28	75 64 82 57 55	15 39 61 06 49	99 19 67 98 49
	17 54 13 15 03	62 94 92 64 28	75 46 33 95 86	04 83 70 72 73	73 11 53 13 60
	09 18 01 08 94	58 04 89 41 91	05 07 50 05 09	19 43 17 09 13	37 42 56 84 77
	97 17 36 69 52	57 75 33 80 40	75 92 21 39 36	60 93 37 54 43	83 13 69 48 73
	56 56 82 45 53	02 87 02 85 94	02 61 78 67 15	55 33 90 98 89	73 32 99 94 01
	73 34 56 50 45	99 48 58 87 73	46 43 67 68 51	86 17 66 36 76	33 21 03 80 17
	26 86 72 26 67	13 95 81 25 27	62 01 79 15 88	93 76 30 37 31	32 08 39 62 97
	98 18 51 23 24	72 51 91 16 22	45 16 96 87 87	16 99 85 42 81	52 06 72 99 05
30	64 69 29 89 18	69 20 65 87 53	26 11 86 34 05	39 17 25 34 17	83 32 80 02 35

- (7) 1度使った数字は、2度目は使わない。(／をつけていく。)
- (8) 1番～16番まで出たら終了。

- (9) 女子も同じようにして18人分を埋めていく。(スタートが32になります。)

	62 66 89 51 70	44 20 34 68 35	55 46 83 03 46	45 39 12 95 58	12 13 99 77 29
	98 06 44 45 67	76 92 33 82 72	49 53 42 93 34	57 95 05 98 75	42 49 58 18 50
	71 28 23 55 52	67 72 00 05 18	07 93 64 95 93	78 20 58 46 86	12 97 23 59 70
	67 72 64 67 06	84 71 08 74 47	76 52 01 72 14	50 51 91 94 02	03 68 10 42 26
	12 73 22 89 84	99 87 32 57 09	40 20 22 68 03	80 90 03 64 01	71 96 61 72 99
	42 25 31 79 54	98 70 23 91 40	41 97 56 29 84	15 04 19 63 46	26 05 49 30 95
	95 90 27 00 27	83 46 49 16 91	21 58 51 97 78	52 02 03 73 17	43 41 37 63 38
	33 77 43 75 06	66 26 75 26 47	73 67 90 74 62	54 23 13 68 03	90 83 59 47 88
	13 79 03 41 49	13 13 90 31 60	47 30 37 30 15	04 33 75 91 66	68 50 31 84 28
10	22 31 97 65 36	24 88 84 70 94	64 09 37 01 41	66 50 67 11 45	29 86 98 83 46

- (10) 座席表に落としていくと、次のようになります。

教 卓	
9	13
3	2
1	15
15	1
4	3
5	8
16	16
2	6
17	
6	5
13	11
11	12
7	10
12	
10	4
8	7
14	14
18	9

5 留意点

- (1) 欠席者がいる日にはやらない。
- (2) 「最悪～」や「えー、やだー」は言わせない。どれほど失礼で、人権を無視した言葉であるかを言い聞かせておく。
- (3) 席替え後、沈んだ顔をしている子どもを見逃さず、後でフォローする。
- (4) 次の席替えの時期を予告しておく。(次回に期待を持たせるため)

● 班長を先に決め、班長会議で班員をとっていくという方法は、かつて学級経営の方法として推奨され、多くの教師が採用した方法であるが、その頃は、班の活動の時間が十分保証されていた時期であり、子ども達に事前に班活動の利点についても説明する時間があり、子ども達が納得した上で進めていた。そうやって作った班ではあるが、私の感覚では、とりわけ学級が良くなったという実感は無かった。

もし、今のように時間がとれない状況で、教師主導で拙速にこの方法をとると、いい結果は生まれない様に思っています。例えば、班員の誰が最後まで残ったかがわかると、問題が生じることや、仲良しグループを作りたいために班長に立候補する子が出てきたりすることが想定され、その後の修復に大変な労力を要すると思われるのです。

● 席替えの方法は、学級経営がうまくいって、教師の指導が行き届くのであれば、どの方法をとっても構わないと思いますが、子ども達の発達段階を考えると、学年が上がるにつれ、子ども達からも不平不満が出ず、教師にとってもストレスが無い方法を求めていくと、小4ぐらいまでは教師が決める、小5～小6はご対面、中学生はくじ、が無難かなと思っています。

又は年度当初は教師が決めて、年度の最後は自由席というご褒美があっても良いかもしれません。

6 乱数表の一例

乱数表とは、00から99までの数字が縦、横、斜めにランダムに配列されている表です。

	10	20	30	40	50
10	07 11 51 83 35 77 75 52 21 20 44 25 57 16 26 86 79 39 57 33 82 66 49 35 24	12 35 37 59 13 82 26 52 29 06 73 48 47 15 19 99 69 31 32 42 65 79 11 37 74	64 70 91 13 33 47 49 99 24 39 32 76 82 40 65 36 69 96 51 81 06 36 49 00 87	64 80 45 08 64 60 54 92 77 96 44 17 59 18 15 65 17 97 85 68 11 00 96 38 37	79 40 13 89 80 32 32 55 29 79 75 55 35 08 83 81 58 57 37 17 71 96 17 48 40
	62 66 89 51 70 98 06 44 45 67 71 28 23 55 52 67 72 64 67 06 12 73 22 89 84	44 20 34 68 35 76 92 33 82 72 67 72 00 05 18 84 71 08 74 47 99 87 32 57 09	55 46 83 03 46 49 53 42 93 34 07 93 64 95 93 76 52 01 72 14 40 20 22 68 03	45 39 12 95 58 57 95 05 98 75 78 20 58 46 86 50 51 91 94 02 80 90 03 64 01	12 13 99 77 29 42 49 58 18 50 12 97 23 59 70 03 68 10 42 26 71 96 61 72 99
	42 25 31 79 54 95 90 27 00 27 33 77 43 75 06 13 79 03 41 49 22 31 97 65 36	98 70 23 91 40 83 46 49 16 91 66 26 75 26 47 13 13 90 31 60 24 88 84 70 94	41 97 56 29 84 21 58 51 97 78 73 67 90 74 62 47 30 37 30 15 64 09 37 01 41	15 04 19 63 46 52 02 03 73 17 54 23 15 68 03 04 33 75 91 66 66 50 67 11 45	26 05 49 30 95 43 41 37 63 38 90 83 59 47 88 68 50 31 84 28 29 86 98 83 46
	32 35 07 22 59 67 51 13 78 15 13 31 40 37 04 87 51 39 55 17 55 52 34 50 27	00 20 47 70 22 71 92 26 34 25 05 90 67 28 76 08 75 83 06 40 14 23 90 49 44	43 91 36 66 00 35 45 27 79 02 68 25 21 95 74 92 24 72 06 14 26 52 76 66 25	62 93 49 04 23 39 35 75 59 10 02 26 88 99 52 72 34 90 63 81 90 06 23 91 75	47 12 04 82 24 50 13 39 38 87 71 42 78 44 73 33 88 90 65 76 90 00 24 16 73
	64 88 38 34 90 15 92 32 29 62 17 54 13 15 03 09 18 01 08 94 97 17 36 69 52	51 98 50 79 93 39 80 57 77 28 62 94 92 64 28 58 04 89 41 91 57 75 33 80 40	65 91 42 82 87 75 64 82 57 55 75 46 33 95 86 05 07 50 05 09 75 92 21 39 36	50 94 22 89 91 15 39 61 06 49 04 83 70 72 73 19 43 17 09 13 60 93 37 54 43	05 91 85 53 19 99 19 67 98 49 73 11 53 13 60 37 42 56 84 77 83 13 69 48 73
	56 56 82 45 53 73 34 56 50 45 26 86 72 26 67 98 18 51 23 24 64 69 29 89 18	02 87 02 85 94 99 48 58 87 73 13 95 81 25 27 72 51 91 16 22 69 20 65 87 53	02 61 78 67 15 46 43 67 68 51 62 01 79 15 88 45 16 96 87 87 26 11 86 34 05	55 33 90 98 89 86 17 66 36 76 93 76 30 37 31 16 99 85 42 81 39 11 25 34 17	73 32 99 94 01 33 21 03 80 15 32 08 39 62 97 52 06 72 99 05 83 32 80 02 35
	69 05 01 41 56 20 21 95 20 48 85 11 80 87 44 66 07 89 02 26 84 48 66 04 06	73 65 51 12 24 97 24 01 54 10 61 77 15 51 19 66 63 34 42 48 68 19 86 31 23	66 36 37 98 90 63 20 91 96 43 57 37 92 55 35 54 83 39 09 66 69 54 50 65 55	53 80 23 80 41 08 30 90 80 13 24 44 40 38 46 16 79 61 60 85 39 24 24 67 42	50 13 51 24 88 28 77 04 67 42 41 78 97 52 23 89 95 30 75 61 13 84 71 39 77
	90 56 48 15 60 62 13 71 56 11 60 14 20 36 54 83 71 91 46 43 47 94 74 10 92	06 84 55 72 13 39 79 81 42 62 20 79 91 64 66 81 81 11 37 16 25 42 57 96 82	68 59 58 98 10 54 75 61 25 43 46 70 73 72 45 57 23 06 27 00 24 36 16 18 32	20 64 83 73 87 31 98 47 33 20 77 70 64 43 32 24 20 37 90 35 48 62 49 73 14	76 17 48 25 39 12 72 09 04 41 70 26 48 38 23 98 40 09 88 92 56 73 93 33 74
	89 42 43 89 33 36 82 20 81 17 16 45 74 25 65 18 08 78 38 82 56 96 79 20 75	83 27 18 36 89 63 85 73 80 46 30 66 95 60 68 61 03 40 01 72 96 45 71 31 49	48 45 97 33 93 53 65 28 44 82 82 09 94 17 92 68 69 04 86 53 35 08 20 32 98	54 01 41 45 59 39 93 14 51 35 91 59 55 13 21 08 46 89 17 45 38 31 97 60 92	96 62 61 91 82 49 18 57 34 06 68 80 38 37 49 63 44 26 95 12 67 46 59 18 79
	45 55 00 63 85 39 64 23 69 76 51 78 86 44 38 38 85 61 11 49 09 02 50 72 10	94 97 65 92 94 17 62 36 76 90 08 33 17 41 54 96 21 06 81 85 47 76 57 71 92	43 15 70 38 12 27 18 56 43 43 11 33 31 55 58 53 71 09 38 83 81 84 26 22 04	64 35 51 88 94 54 09 08 11 81 99 57 95 07 97 58 20 92 52 49 30 41 34 77 93	44 80 42 56 36 53 54 60 82 93 19 64 04 06 07 28 75 12 74 19 90 93 09 37 36